

伊賀市議会政務活動費明細書

伊賀市議会議長 様

報告者
議員名

板井 弘子

支出項目

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけて下さい)

内 容

日付	明細	領収書等の 金額 (円)	按分率	金額 (円)
11/14	光通代	72,055		72,055
/				
/				
/				
/				
/				
/				
計				72,055 円

領収書等添付用紙

議員名

桃井弘子

調査研究費・研修費・広報費・広聴費・会議費・資料作成費・資料購入費
人件費・事務所費

(該当項目に○をつけてください。)

領 収 証

桃井弘子

様

No. _____

★

¥ 72,055-

但

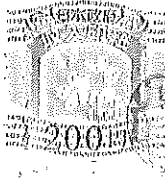
登録番号 T7810452782781

2023 年 11 月 14 日 上記正に領収いたしました

内 訳

税抜金額

消費税額等(%)



看板・塗装 大和工業

〒518-0836 三重県伊賀市緑ヶ丘本町4164-1
TEL0595-23-0226・FAX0595-23-1408

令和 ネコのあくび

創刊号 発行日 2023年10月



旧上野市庁舎 活用の経緯

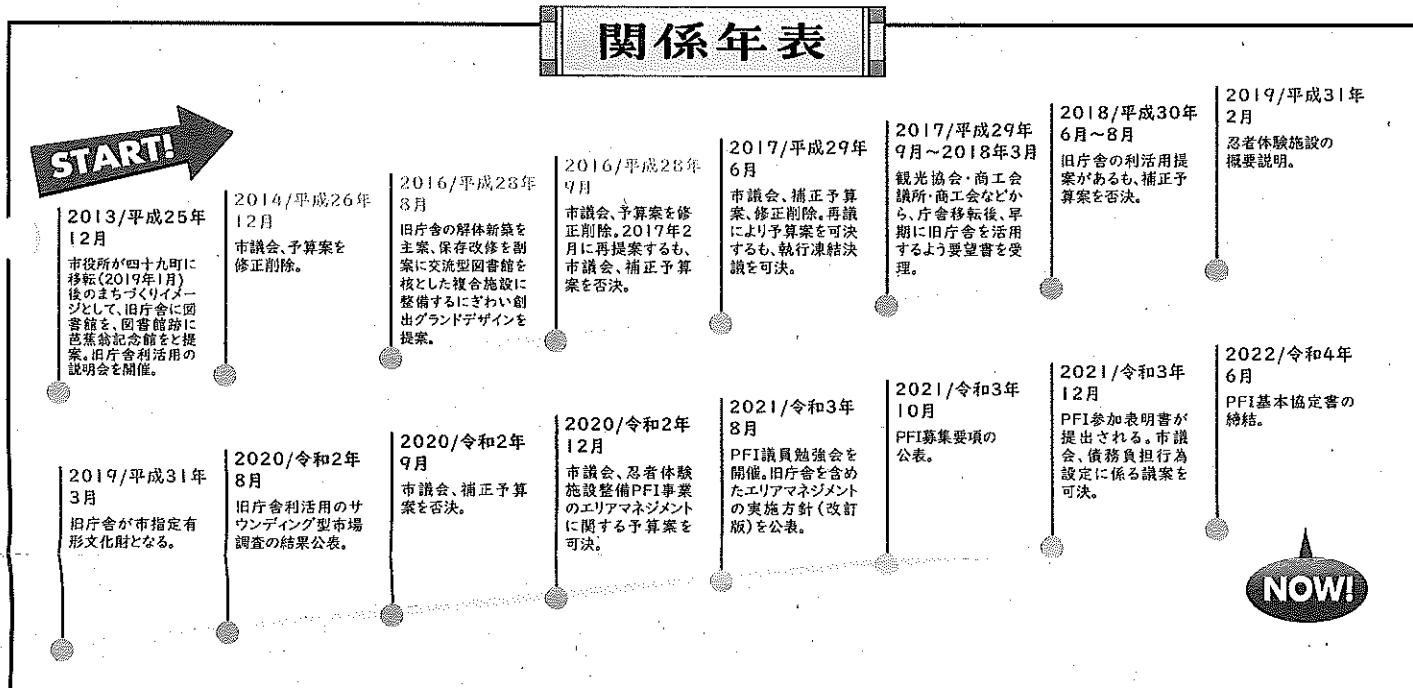
否決が繰り返され、3億円で
できた事業に25億円の支出

旧上野市庁舎の利活用が、忍
者体験施設整備とともに官民連携の
PFI事業で進んでいます。現在
は、実施設計の段階ですが、ここ
に至る経緯は下の年表のとおりで
す。

年表にあるように、当初、国の合
併特例債を活用して、市単独事業
として新図書館整備の予定でした
が、予算案上程のたびに市議会は
否決。反対した議員からその具
体的な対案もなく、特例債の期限も
過ぎてしまいました。官民連携の
PFI事業として、市の実質負担
額が大幅に増えたかたちで20年間
の債務負担行為を設定して、よう
やく動き出したというのが現在の
状況といえます。

(文責・増田たけし)

関係年表



二つの温泉の民間売却 合併20年。費やされた 維持費が21億円

伊賀の国大山田温泉と
鳥ヶ原ふれあいの里は、本
年4月からプロポーザル
入札により、民間事業者に
よる経営となりました。

伊賀市として合併して
以降、平成17年から令和4
年までの17年間で、皆さん
の税金が使用された金額
は、両温泉施設あわせて21
億円余り。内訳は、伊賀の
国大山田温泉が5億2千
万円余り、鳥ヶ原ふれあ
いの里が15億9千万円余り
となっています。

市有温泉施設のプロポー

ザル入札の結果は、
(物件① 大山田温泉)
最優秀者
株式会社Y's corporation
(物件② 鳥ヶ原温泉)
次点者 なし
最優秀者

鳥ヶ原温泉リゾート
次点者 一般社団法人
しまがはら郷づくり公社
となりました。大山田温泉
に関して、次点者の記載が
ないのは、応募者が次点者
の資格を得る点数に満た
なかったためです。

民間活力で今後、皆さん
の税金をつかうことなく、
両温泉施設が繁栄して欲
しいですね。
(文責・もい弘子)

道の駅あやま等に費や した維持費とこれから

旧阿山町時代から、阿山
ふるさと森公園・道の駅
あやま(阿山交流促進施
設が運営されています。
さんきーホール(あやま
文化センター)も、旧上野

市などとの伊賀市合併の
際に、駆け込みで作られま
した。

そして、これら3施設の
業務委託料及び指定管理
料として、18年間でおよそ
6億円もの税金が投入さ
れてきました。

しかし、ふるさと森公
園は、以前あった遊具等が
撤去されたり、使用禁止と
なっていて、利用者から不
満の声が上がっています。

道の駅あやまにいたっ
ては、利用者が多いにもか
かわらず、指定管理料で維持
運営費などが税金から支
払われている。

今後、民間事業者が一体
的に賃借すれば、新名神
高速や名阪国道のイン
ターチェンジからも近いこ
とや、風光明媚を最大限に
利用し、様々な工夫をこら
して、誘客・集客に努めら
れ、大きな再生につながり
ます。

(文責はませたつお)

文化歴史が薫り出す

昭和34年(1959)建設
の芭蕉翁記念館の建て替
えを含む美術館建設
準備室が、今年度、市企画
振興部に設置されました。

現在の芭蕉翁記念館は
老朽化により、貴重な芭蕉
さんの自筆作品も収めら
れる収蔵庫が、時に雨漏り
の被害を受けており、旧上野
市時代から継続して新設
の議論がなされてきまし
た。

美術館については、平成
の合併後、建設を求める市
民らの約9千200人の
陳情書や要望書、請願書が
市や議会に提出され採択
されました。

概ね10年間の基本方針な
どをまとめた令和元年(2
019)策定の『市文化振
興ビジョン』でも、博物
館・美術館などをはじめと
した施設の確保が欠かせ
ません」と謳われています。

(文責・増田たけし)

「令和ネコのあくび」 発行にあたって

世の中はデジタルで、ア
ナログの様に一方的に情報
を押し付けられない、と言っ
てもよくなります。

テレビでさえ、地デジと
なって双方向になっていま
すが、アンケートに四つ
の色分けされたボタンを押す
程度。反面、防災情報などは
かなり細かなエリアの情報
でありがたい。

未だにテレビのCMの最
後に、「詳しくは検索」とよ
く見ます。要は、欲しいなら
一手間でも掛けて調べなさ
いとも言っているのかと
も思います。

嘘でも、巨通言えは本
当になる。こんなことを聞
いたことがあります。市政情
報は決して嘘はありません
が、その結果を導くのに経
過(プロセス)も重要である
と、私たちは考えます。

市広報や市議会だより
に載らない情報を少しでも、
経過から明らかにされた結果
としてお知らせできれば、
議員としての本懐の一部は
遂げられると考えて。

(文責・田中さとし)

【次号特集予告】
小・中学校の校区再編成

市役所の玄関看板が変わりました

IGA CITY HALLから、
昨年3月よりIGA CITY
GOVERNMENTに変更
されました。玄関看板を
変更した市長の見解は？
(桃井)



IGA CITY GOVERNMENT CITY COUNCIL

地方自治というのは、市民の
市民による市民のための行政であり、
よりよい市民生活が送れるようにするとい
うことであります。行政は、住民自治の組織の
根幹になるところで、その構成員はすべての
市民です。ですから、国の中央政府、県政
府、市政府というのが本来のあり方
であります。(市長)

田中 寛

全国的に、
議会議員が
10年任期の
表裏を受けま
した。三期に
指導に、感謝
を申し上げます。
県と市を通算
9回の選挙に
当選。長きに
会を振り返り
背景の激変と
会役の役割を
も熟考させら
れていま

その昔、この
ように言っても
決して過言ではな
いと思えますが、伊
賀の政治の枠組み
は、斎藤先生、川崎
先生、中井先生の国
議員を頂点として、
県議や市議の争奪戦
を繰り広げ、あたか
も戦国時代のような
に勢力図が選挙の
たびに書き換えられ
ていました。
当時は、県議会や
市議会は、知事や市
長の追認機関と言っ
てもさほど差異のな
い組織であった。地
方自治法96条の第1
番目にある条例の改
廃など、まったく意
図されていませんで
した。その象徴とし
て、県や市に議員提出

条例が皆
無であった
ことが証明し
ているといえま
す。
人口減少を背景
として「今だけ」
「自分だけ」一部の
地域や団体、組織だ
けに「利益のためだ
け」の利益の論議も
存在します。
今を生きている私た
ちが、これからの人た
ちに投資を要として
いくことが肝要と考
えています。
すべては、次世代
のために「政治の
ものさしに、私たち
の生活に一番身近な
市の政治に、日々、取
り組んでいます。

歴史豊
かな伊賀
に賑わいを取
り戻したいと、市
議会でも議論を
重ねています。
大学院を修了し
て、大好きな伊賀の街
づくりに人材育成に
関わりたいと、県立高
校で地理・歴史の教鞭
を執り、芭蕉翁記念館
で学芸員として社会
教育の現場に立つて
いました。
少子高齢化と人口
減少が進み、10万人を
超えていた伊賀市の
人口も、今や8万人
強。20年後には、5
6万人と推計されま
す。つまり、持続可能
な街づくりに取り組
む必要があります。
人口減少は市の財

源が減るこ
とにすぎない
です。予算の削減が
必要ですが、どの施
策を推進してどの施
策を見直すのか、しっ
かり見極めたいと考
えます。
中心市街地では、に
ぎわい忍若回廊事業
を核に、2025年の
大阪・関西万博に集
点を定め、観光立市
として観光施策を取り
組んでいます。
例えば市街地では、
コミュニティブラン
トは水をきれいにす
るうえで有効です。
うし、土地区画整理事
業を実施するなど思
いの切った施策が、住
民との協働で実現し
ますと街の再構築に
つながります。

これまで
の私の政策提
言で、美術館
構想の調査費を獲
得し、伊賀市におい
ても準備室が置か
れ、美術館の設置
が実現しようとして
います。
これからも、地域の
伝統文化を活かし
た、心豊かな街づく
りの視点で諸施
策を進めてい
きます。

増田 雄

総無償自己紹介

桃井 弘子

7年目、二期
目、買って子育
て、教育、医療、
福祉を軸として
取り組んでいます。
一人の子どものは、
中学3年生と保育所
年長。私は、子育て
真っ最中というよ
り、子どもを通じて
いろいろな勉強さ
せていただいでい
ます。
そんなこ
んなの気

つきから政治に目を
向けると、「矛盾」疑
問「理不尽」が見え
てきます。今後も、課
題にしっかりと向き合
い、さまざまな課題の解
決につなげていきま
す。
お母ちゃん目線
で、日々の生活のな
かの課題や利便性が
ない、例えば、ゴミ袋
の手付け型に変更し
ました。
新生児期の聴力検
査は、非常に大切で
す。しかし、自己負担
額が6千円のため、
検査の受診が100%で
はなく、半額の3千
円補助を実現しまし
た。
また、災害、また、
大きなイベント時
に、授乳する場所
に苦勞を

されてしまったので、
移動型授乳室を作り
ました。
さらには「ご家族が
お亡くなりになられ
た時、市役所の手続が
多岐にわたります。
ご遺族の負担を減ら
すために窓口を一本
化し、おくやみ窓口
を設置したり、実家が
寺なので、高苑の不具
合がよく分かります。
老朽化した斎苑の早
期建て直しを実現し
ました。
市民生活、日々の
生活に密着した課題
が最も重要であり、
小さいことから「コッ
ソ」と取り組むこ
とにより、大き
な施策につな
げていきま

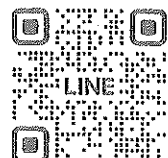
上野東町の公衆
トイレに疑問を抱
き、政治に参画しま
した。
父が経営してい
た生花店「花咲い
さん」で、仕事のイロ
ハを覚え、現
在は、整理をし、ま
たが、最大4店舗ま
で拡大しました。父
の遺志を継いで、花
屋を再び構えてい
ます。
先輩議員から
は、濱瀬さんの得
意技は「経営」と
「再生」かなと言
われます。
今後、伊賀市
は急速に売り
上げが減少
します。

例えば、人口減、
特に、生産人口減に
よる税収減少などが
挙げられます。
今後、伊賀市は急
速に経費が増加しま
す。例えば、公共施設
の経年劣化と過去の
バラマキ行政のツケ
の維持費などが挙げ
られます。
議員になってこの
2年、人様に良く見
られたい、議員らし
く見せたいと、ずい
ぶん背伸びをしてい
ました。
ご指導のとおり根
本に立ち返って「経
営」と「再生」の観
点で伊賀市を見た
とき、盛りだくさん
の課題が見えてき
ました。同時
に、解決

濱瀬 達雄

田中さとる
24-6661
maruichi101@gmail.com
ももい弘子
47-0234
mhhy26@gmail.com

はませたつお
22-8794
kadode4976@gmail.com
増田たけし
21-0532
masumasuiga@gmail.com



@NEKONOAKUJIBI2023